

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	開所時からの職員も少なくなり、地域密着型サービスの意義の踏まえたサービスの拠り所である理念について、全職員で確認と再構築を検討してほしい。	地域にグループホームの事業が浸透してきたことを踏まえ、今後は入居者が地域の一員として関わりをもてるような理念を再構築する。	毎月の職員会議で話し合う時間を設ける。一人ひとりの入居者の地域での暮らしを維持できるように配慮した目標を掲げられることに取り組む。	4ヶ月
2	35	消防計画書の変更届を行うとともに、防災機器の取扱い方を全職員に周知し、点検検査基準に従った自主点検を実施してほしい。	小規模施設であることから、消防計画や防災機器、各点検について、職員一人ひとりの防災に対する意識を高めるよう努めるとともに、検査基準に従った自主点検を行う。	消防計画は随時確認をし、変更届を行う。防災機器の取扱いは毎月の職員会議で取り上げ、周知を図る。	4ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。